

【選手入場】



たぐの、利用者さんにとって楽しみな反面、大変な仕事だったと思います。それでも毎月笑顔で来られ、目の前の議題に対して懸命に取り組み、解決していく姿には驚かされる事が何度もありました。自分たちで決めたルール、制作したピン、おそろいのTシャツ、本番での緊張や不安も伝わりますが、競技終了の充実した皆さんの笑顔が一番印象的でした。

大きな怪我などなく終了した運動会ですが、たくさんの人に支えられ、無事に開催できたことは本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

【開会式】



利用者さんの特性や体力、なにより安全性を考慮、配慮しながら実行委員で会議をして参りました。自施設でも高齢化に伴う問題など、毎年超えるべき事柄がいくつもあり、競技内容などもシンプルで新しいものをとハードルは上がるばかりなのですが、それらも各事業所の意見を会議で検討し、一つずつ乗り越えられているのだろうと感じています。

【競技その1】



来年、再来年と形は変わっていくとしても「利用者さん主体の安全な運動会」という思いは変わらず引き継いでいきたいと思っています。

令和になり初めての運動会となった今回、両者互角の同点優勝となりました。

スローガンも毎年各事業所から募集して、今年は「がんばれいわ!」に決定。当日は各事業所旗と同じように大きな旗を掲げ、会場を盛り上げました。競技にも新しい試みがあり、本当に楽しく、皆さんが頑張った素敵な運動会となりました。

【競技その2】



実行委員と本人委員は各事業所の代表として少人数で行われます。しかし、委員会で行われる提案は各事業所で話し合いを重ねられた結果のもので、運動会に関わられた全ての方のご協力がなくては、運動会の成功はありえませんでした。運動会に携われた利用者さん、保護者の方、職員の方、本当にありがとうございました。

【競技その3】



運動会を振り返ると、楽しかったという部分だけでなく課題もありました。次回の運動会ではこの課題を乗り越え、より良いものに出ると考えています。運動会は、楽しさだけでなく、その中に色々な学びがあります。今回学んだことを活かし、これからの運動会や日々の業務に取り組みます。

最後になりましたが、会場を提供して頂いた舞洲障がい者スポーツセンターの皆様、ご協力ありがとうございました。